



学校だより

墨田区立第三吾孺小学校
校長 川中子登志雄
令和2年2月20日
臨時号

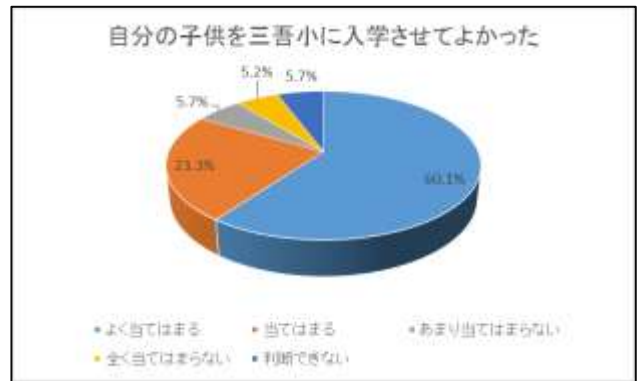


保護者アンケート回答率52% (昨年度から33%以上の低下)

「子供を三吾小に入学させてよかった」 **83.3%**

12月にご協力いただいた令和元年度学校評価保護者アンケートおよび年2回実施している教職員と児童による学校評価アンケートの結果をもとに、今年度の学校経営についての自己評価を行いました。先日の2月4日に行われた第3回学校運営連絡協議会において、その報告と説明を行い、委員の皆様からの第三者評価をいただきました。

今年度は、学校が取り組んでいるICT化推進を意識して、昨年度より一歩先行した「ウェブサイト上のアンケートフォーム」を利用した保護者アンケートを実施しました。スマートフォン等で配布されたQRコードを読み込んで、気軽に回答することができるものです。従来通り、紙での回答をご希望の方にはプリントを配布する用意をしておりましたが、プリントの希望はありませんでした。



回答期間中に、回答率が大変低かったため、受信したスマートフォン等で直接アクセスできるURLを添付したメールを、2度配信し協力を要請いたしました。そうして集まった回答が、全家庭数の半数という状況になってしまいました。この結果、今回の結果を昨年度のものと比較することが難しい状況です。

さて、今年度のアンケートも、昨年度同様、学校の取組姿勢を評価していただく「取組指標」と、学校の取組の結果、お子さんがどのように変容したかを評価していただく「成果指標」をセットにして質問させていただきました。質問項目は、基本的には昨年度と同様ですが、今年度新たな項目として入れたのが、質問1(下グラフ)の「自分は、今年度新しく制定した学校教育目標の実現に向け、学校がどのような教育を目指しているのを知っている」でした。新しい教育目標については、4月の特別暗唱課題としてほぼ100%の合格者を出し、毎回の朝礼で6年生(今週から5年生)の号令に合わせて全員で暗唱し、全校児童が言うことができるようになっていました。児童アンケートの結果、84%の児童が、「学校教育目標を意識して生活している」と回答しています。6年生は卒業アルバムの文集に、教育目標にふれた児童も多く見られました。



学校では、保護者会、運動会・音楽会等の行事、学校だより、ホームページ等を通して、保護者・地域の皆様に、今年新しく制定した学校教育目標について意識的にふれながら、第三吾孺小学校が目指す教育について発信をしまいましたが、まだ充分にご理解をいただくことができなかったということが結果に表れています。

同様に、質問2「学校は、基本的な人権を侵害する言動を見逃さない、許さない指導を徹底し、組織的に、差別やいじめの防止に取



全校朝礼で教育目標を唱える児童

り組んでいる」という項目についても、肯定的評価が59.1%（否定的評価が26.6%）という結果です。この点についても、教職員の自己評価（100%）、児童に年3回実施している学校生活のアンケートによる結果と大きな隔たりが見られ、実態の解明が必要です。

【高評価をいただいた項目】

質問5, 6, 7は、学校が2年間にわたり研究してきたICT機器を活用とした授業改善の取組とその成果についての質問でした。学校の取組については83.3%（昨年度比+1.8）の高い評価をいただき、児童の変容として「国語、算数の基礎学力が身に付いてきている」に72.8%の方が肯定的な回答をいただきました。それに対して、理科・社会の学力定着については57.1%（同-3.1）とまだまだの様子が見えます。

質問12, 13の体力向上については、学校の取組は80.5%（同-9.0）の評価をいただきました。また、昨年度一番高い評価をいただいた安全指導については、今年も85.1%（同-5.8）と高い評価をいただいています。引き続き危機回避能力を高めるため、避難訓練や安全指導等を通して指導を強化していきます。

質問18, 19は、学校教育への保護者・地域の教育力の活用についてです。今年、各学級平均3.8回、延べ60回を超える特別授業を取り入れた教育活動を行いました。学校の取組に対しては81.3%（同-9.6）と高い評価をいただいています。これらの取組の成果に関しては、保護者の肯定的評価は58.6%にとどまっていますが、児童のアンケートでは「ゲストティーチャーとの授業を楽しんだ」は94%、「キャリア教育特別授業を受けて、職業についての意識が高まった」5, 6年生は87%と大変高い結果となっています。

最後に、学校の情報発信については、83.3%（同-7.3）が学校の取組を高く評価し、その成果として「学校の取組や様子が把握できている」保護者は75.2%です。

【課題の見られた項目】

質問8, 9は本校の英語教育についての質問でした。「学校は、指導法を工夫して英語によるコミュニケーションの基礎を養うよう努めている」に対する肯定的評価が57.2%と、昨年度比10.1ポイント下回る結果となりました。それに対し、「自分の子供は楽しみながら外国語活動に取り組んでいる」については65.6%という評価になっています。この件については、教職員アンケートで「英語研修を生かした授業を実施している」と答えられた教職員が62.2%という結果で、保護者評価と一致しています。児童は「担任の先生との英語の授業は楽しい」と回答しているのが89.5%と高いのに対し、「英語で自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりすることを楽しいと感じる」児童は76.5%と下がります。

質問12, 13は、学校の体育の取組についての質問でした。学校の取組については80.5%の肯定的評価をいただいています。しかし、「自分の子供は、健康に関心を持ち、外遊びや体力づくりをすすんで行っている」については57.4%で、昨年度比13.6ポイントの降下が見られました。

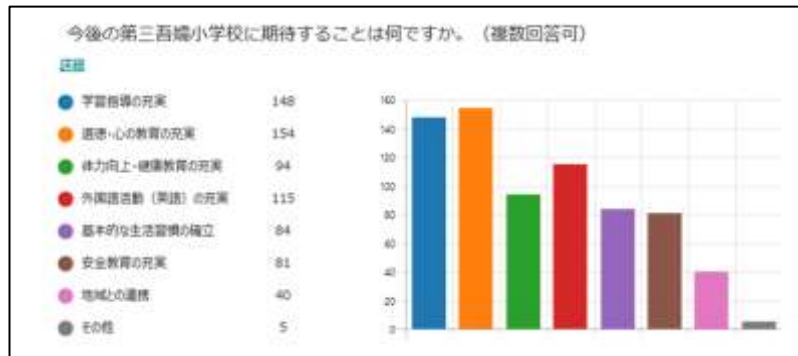
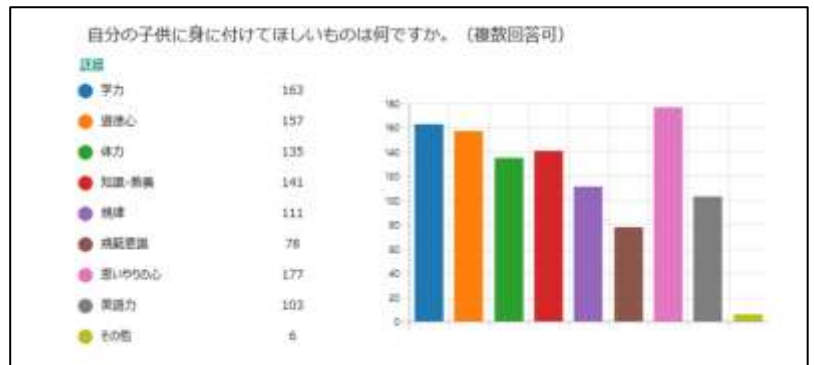
実際のところ、昨年度との比較では、アンケートの回収率による差が大きい*ものと思われるので、単純な比較はできませんが、以上のような項目については、今後も注意深く改善を進める必要があると考えています。

*否定的な評価をいただいた割合を回収率から見ると、人数は昨年度との差は見られません。

【保護者意識調査について】

本アンケートでは、昨年度に引き続き、保護者の意識調査も実施しました。今年度は、令和2年度の検討事項についての調査もお願いし、大変貴重な意見を集めることができました。

先日の校長「語りいサロン」でも話題にさせていただきましたが、今年度も保護者の気持ちとして、「子供に身に付けてほしいもの」は、右グラフの通り、「思いやりの心」が最も多い回答でした。先日行われた学校運営連絡協議会の中でも話題となり、保護者が学力以上に思いやりの心を子供に身に付けてほしいと感じていることに「安心した」とのコメントもいただきました。

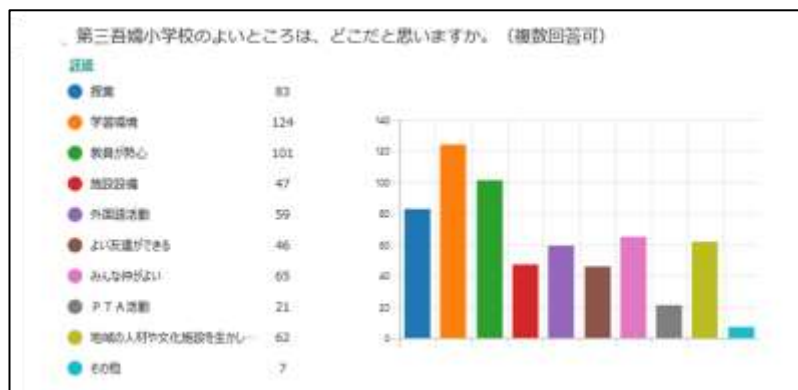


これに呼応するように、学校教育に期待することでも、若干ではありますが、「学習指導の充実」を押さえ、「道徳・心の教育の充実」が最も多い回答となりました。

また、特徴的なのが3番目に高かった「外国語活動(英語)の充実」です。保護者の皆さんの期待の高さを、改めて確認する結果となりました。

また、「学校のよいところ」については、昨年度と似た結果となりました。「学習環境」に続いて、「教員が熱心」という回答を多くいただきました。(自由意見の中にも、教職員への労いの言葉や感謝の言葉を多くいただきました。)

これらの保護者の声を生かし、今後の学校経営をより一層充実させていきたいと考えております。



【自由意見より】

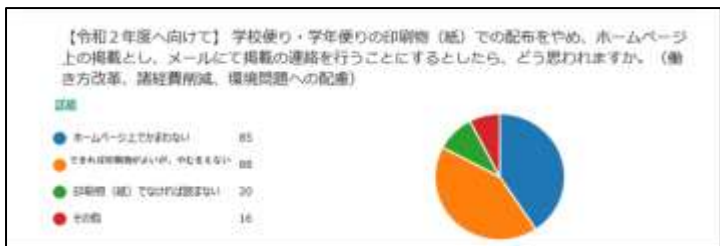
自由記述欄に43件のご意見をいただきました。(回答者のうち約21%)うち、1/3超は、学校や教職員に対する労いと感謝のお言葉でした。大変励みになりました。

次に多かったのが、「PTA活動、子ども会活動に対する意見・要望」でした。これらの意見は、昨年度も寄せられていて、今年は学校でも真剣に問題の解決に向けてPTA本部の皆さんや地域の皆様と話し合いを続けてまいりました。学校では、より詳しく実態を把握するために土曜学校公開の際に実施した校長「語りいサロン」でも、2回連続でテーマとして取り上げ、延べ28名の保護者の皆様と2時間以上の話し合いをもちました。ちょうど、学校教職員についても「学校の働き方改革」が大きな課題として顕在化してまいりましたので、私たち日本人の「生き方改革」の問題として捉え、教員の働き方の見直しと同時に、保護者の負担軽減、そして持続可能なPTA活動のあり方について模索を続けています。PTA本部では、まずは「活動の内容が伝わっていないのでは」との懸念から、保護者への情報発信を可能にするためにホームページの開設やアンケート調査なども実施してまいりました。そして、それらの意見や要望の中には、学校・PTA活動と地域・子ども会活動の区別についての混乱が生じていることや、学校と保護者が「何のために」「どうする」のかよく話し合わなければならないという印象を強く受けました。このことについては、3月7日に予定されている保護者会全体会でもお話しさせていただきます。

その他、学校公開や行事に関するご意見をいくつかいただきました。土曜学校公開の回数については、墨田区立小学校統一の回数を実施していますので、本校が他校よりも多いとか少ないということはありません。学校の教育活動を公開し、より多くの保護者や地域の皆様に見ていただき、ご意見をいただいて経営改善につなげていきたいと思っております。（もちろん、全ての公開日に「来なければならない」ということではなく、来たい・見たい方に「より多くのチャンスを設けている」という趣旨です。）

【令和2年度の学校経営について】

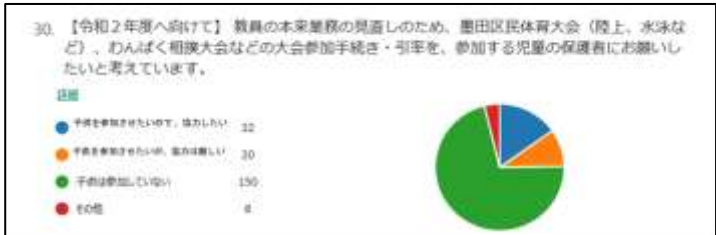
先に挙げた意識調査とは別に、来年度の変更計画についてのアンケートもお願いしました。



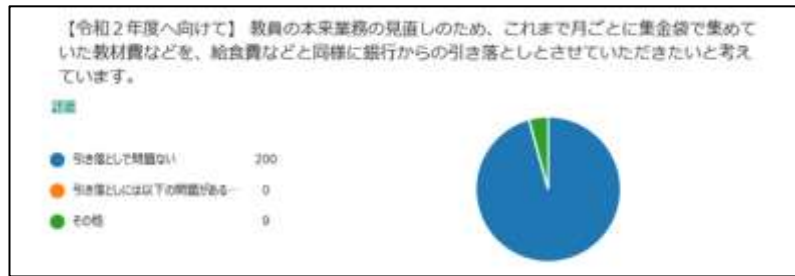
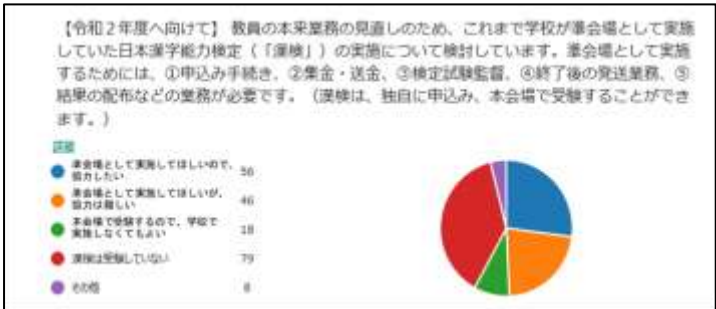
まずは、学校からの配布物の電子化についてです。ご回答いただいた方の40%の方が電子化には肯定的な回答、「やむを得ない」まで入れると82%の方がホームページやメールによる配信でも対応できそうだと分かりました。一方「紙でなければ読まない（読めない）」方が約10%いらっしゃいます。

「その他」の意見には「予定表だけは紙でほしい。いつでも見られるようにはっておきたい。」というごもっともな声がありました。これらの意見を受け、来年度は配布物の見直しを行います。2年度は、学校の予定表を一本化し配布することにいたします。便りは、縮小化・電子化、紙とホームページ等の併用を進めます。

次に、一部の希望者に関わることについて2点お聞きしました。墨田区民大会やわんぱく相撲大会などの参加については、参加する児童の保護者の皆様に当日の引率をお願いしたいと考えています。チームでの参加を希望する子供がいた場合は、参加する児童の保護者の皆様に協力をお願いします。



漢検についても同様に、教員の仕事から分離することを考えています。幸い、お手伝いしてもいいとお答えいただいた保護者の方が56名もいらっしゃいましたので、ボランティアによる運営を検討していきます。そして、ボランティアを募集して、集まらなかった場合は、学校での漢検実施は見合わせることにします。将来的には、現在順調な運営が行われている図書ボランティアさんたちのような活動ができれば理想的です。



最後に、教材費の徴収方法について伺いましたが、こちらはほぼ全員が「引き落としで問題ない」という回答でした。その他のご意見には、銀行の引き落とし手数料の件がほとんどでしたが、給食費等の引き落としと同時にを行うものですので、今年より引き落とし手数料が増えることはございません。

引き落としにした場合、残高不足などで引き落としができないなどのことが生じると、教職員の負担が増え、結果的に教育活動に影響しますので、趣旨をご理解の上、ご協力をよろしくお願いいたします。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。校長 川中子登志雄